



ナマズの知恵袋

平成30年(2018年)12月1日
編集・発行 滋賀県立図書館

古今東西 建築百景!!

～建築について調べるには?～

今年11月、守山市立図書館が装いも新たにリニューアルオープンしました。この新図書館は、現代日本を代表する建築家、隈研吾氏がその設計を手掛けたことでも話題になっています。

図書館に限らず、駅や病院のような公共施設、あるいは歴史的な城郭など、「建築」ではその施設の機能が重視される一方で、親しみやすさや壮かさといった印象をあたえるデザインも大切な要素になっています。今回はそんな「建築」について調べる方法を紹介합니다。

テーマから、用語から、建築家から……建築について調べる基本

- 『建築学用語辞典(第2版)』日本建築学会編 岩波書店 1999年 [R-5203-ニ]
「日本建築学会が総力をあげてまとめた」と評される、環境問題まで視野に収めた用語辞典。
- 『建築大百科事典』長澤泰ほか編 朝倉書店 2015年 [R-5203-ケ]
「地域防災」や「都市景観」等330のテーマごとに、見開き2ページで詳しく解説します。
- 『環境デザイン用語辞典』土肥博至監修・環境デザイン研究会編 井上書院 2007年 [R-5188-カ]
- 『建築デザイン用語辞典』土肥博至監修・建築デザイン研究会編著 井上書院 2009年 [R-5203-ケ]
キーワードから調べるならこちら2冊がおすすめです。デザイン関係だけでなく、幅広く建築用語を収録。
- 『世界の建築家図鑑』ケネス・パウエル編 井上廣美訳 原書房 2012年 [G-5202-ハ]
世界の著名建築家40人の生涯と代表的作品を伝記のスタイルで紹介します。

建築の「歴史」を調べる

古来より、人の住むところに建築あり。建築の歴史に関する疑問に、本で答えます。

Q. 世界史で習ったナントカ様式、ナントカ主義がややこしい!

- A. 『名建築の歴史図鑑』オーウェン・ホプキンス著 百合田香織訳 エクスナレッジ 2018年 [G-5202-ホ]
時代の流れに沿って、世界の建築を「様式」ごとに紹介。文章と写真で特徴をわかりやすく解説します。

Q. 昔の図書館はどんな建物だったの?

- A. 『建築タイプの歴史1、2』ニコラウス・ペヴスナー著 越野武訳 中央公論美術出版 2015年 [3-5230-へ]
図書館だけでなく劇場や鉄道駅、工場など、建築物の種類別に歴史を辿ることができます。

Q. 平安神宮と滋賀県庁舎(旧)、新しいのはどっち?

- A. 平安神宮(1895年)。滋賀県庁舎(旧)は1888年に建設されています。

■『図説日本建築年表』日本建築年表編集委員会編著 彰国社 2002年 [R-5210-ニ]

日本建築の歴史が年表の形にまとめられています。古代から現代の5章に分け、時代ごとの特徴も解説。

Q. 世界でもっとも古い木造建築は法隆寺。では、初めて「鉄」が本格的に使われた建築物は?

- A. イギリスにある「コールブルックデールのアイアンブリッジ(1779年)」だと考えられています。
その後、技術の発達にともなってロンドン万博の水晶宮(1851年)や、エッフェル塔(1889年)など大規模な建築物にも鉄が利用されるようになっていきました。

■『メタル建築史』難波和彦著 鹿島出版会 2016年 [G-5230-ナ]

建築物の構造や機能、デザインに着目しながら、金属がどのように近代建築に使われてきたか探ります。

■『世界建築大全』ジョナサン・グランシー著 日東書院本社 2016年 [G-5200-ク]

古代の神殿建築から現代の超高層ビルまで、建築5000年の歴史を凝縮した1冊です。



職業として建築にたずさわる人へ。

これから大工・建築士・建築家をめざす人のために――



■『図解建築大工用語集』新井春男〔ほか〕編著 東洋書店 1995年 [R-5255-ア]

■『図解建築・大工用語ノート』佐藤守男著 井上書院 1998年 [R-5255-サ]

上2冊は、長年にわたって建築大工として経験を蓄積した著者による、建築大工が日常的に使用する基礎的用語をわかりやすく図解で説明した用語集。

■『建築現場実用語辞典（改訂版）』建築慣用語研究会編 井上書院 2006年 [R-5203-ケ]

現在の建築現場で使用される5200余語と理解に役立つカラー図表約640点を収録した辞典。

■『プロのための建築法規ハンドブック』建築規定運用研究会 ぎょうせい 2015年 [G-5209-ケ]

■『建築確認・建築士制度100問100答』建築士制度協会 ぎょうせい 2007年 [3-5209-ケ]

■『建築基準法令集 2019年版』オーム社編・刊 2018年 [G-5209-オ]

条文を読むだけではなかなか理解できない建築基準法の一般的な運用基準――それを、図解やQ&A方式で、わかりやすくまとめた本です。1級・2級建築士をこれから受験される方はもちろん、行政担当者・建築家の日常業務にも役立つ知識が網羅されています。



日本のお城・世界のお城



建築物のなかでもとくに人気の高い城郭建築。その秘密を探ります。

■『日本城郭辞典 新装版』鳥羽正雄著 東京堂出版 1995年 [R-5218-ト]

城郭用語、地名、人名をこの1冊で調べることができます。

■『世界の城の歴史文化図鑑 ビジュアル版』チャールズ・スティーヴンソン編 柘風舎 2012年 [3-5202-ス] 古代から近代にかけて、城の防御方法について豊富な図で解説されています。

壮麗なお城の写真が見たい！

■『ここだけは行ってみたい城のある景色 世界名景紀行 世界の名景・絶景55 完全保存版』ピエ・ブックス 2007年 [G-7480-コ] 世界各地の様々な城が美しいカラー写真で紹介されています。

■『カメラが撮らえた古写真で見る日本の名城』中井均著 KADOKAWA 2015年 [G-5218-ナ]

日本全国60城を幕末～昭和初期にかけての古写真で紹介しています。現況写真と見比べながら楽しむことができる1冊。

国宝・重要文化財の宝庫！滋賀の歴史的建造物をめぐる本

重要文化財指定の建造物185件（全国3位）、約1,300カ所にのぼる城跡。

城郭

■『近江の山城ベスト50を歩く』中井均編 サンライズ出版 2006年 [S-2900-06]

本県の代表的な山城について、その歴史とともに城郭構造を詳しく解説。現地へのアクセス方法も掲載。

■『近江城郭探訪 合戦の舞台を歩く』滋賀県教育委員会編 滋賀県文化財保護協会 2006年 [S-2900-06]

「赤鬼の城・彦根城」「甲賀武士団の城」など、18のテーマによる城めぐりの詳細なガイドブック。

近代建築

■『湖国のモダン建築』石田純一郎著 京都新聞出版センター 2009年 [S-5200-09]

県内の67の近代建築を写真付きで紹介します。所在地・建築年・問い合わせ先・内部見学の可否等も掲載。

～こんなサイトもあります～

近江建築探訪ー近江の文化財 名建築を訪ねるー<http://www.biwako-visitors.jp/shigatatemono/>

滋賀の歴史的建造物を、大津・湖西・湖北・湖東・東近江・甲賀・湖南の7つのエリアに分けて紹介しています。

案外、貴方がお住まいの身近なところに、歴史的建造物が見つかるかもしれません。